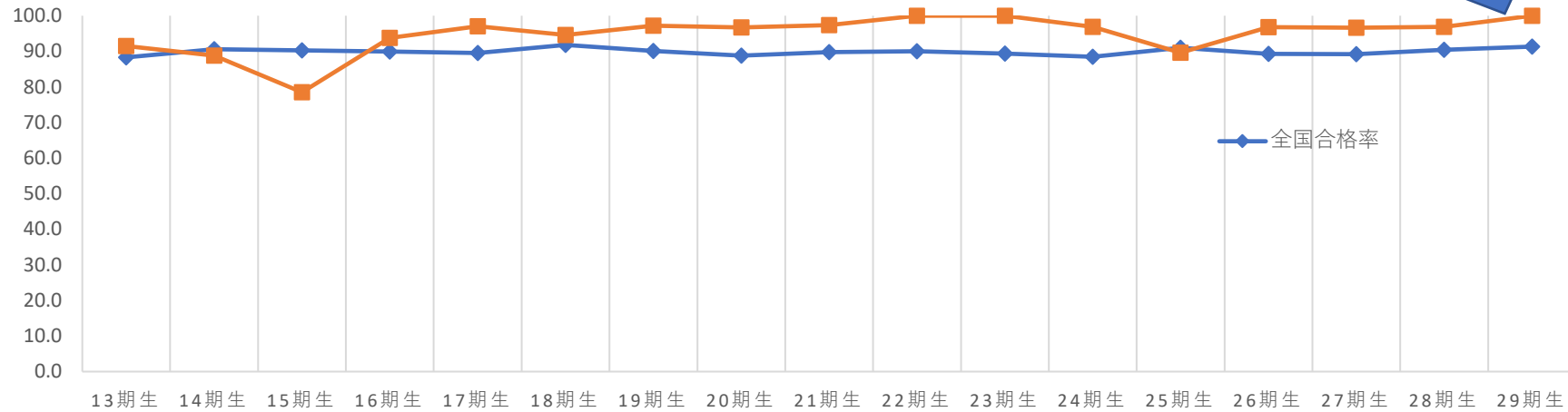


国家試験合格率

29期生100%合格



(29期生は全員合格の結果から)

1. 「看護に必要な人体の構造と機能」「健康障害と回復について基本的な知識」と「看護技術に関する基本的な知識」の弱さがあり、問題集の過去問と、解剖・疾患に関する過去に実施した模試を繰り返し解くことを実施。
2. 過去問題の実施後は振り返りを大切にする。
3. 臨地実習中は受け持ち対象を通しての疾患理解や看護技術に関する知識を充実させることができるため、臨地実習での学びが充実して知識の定着が図れるように関わるとよい。
4. 第111回の看護師国家試験は比較的難易度は低かった。全体的に発達課題や、危機モデルなど看護の基本を重視した問題構成であり、必修問題は過去問からの流用問題が多く出題されていた。状況設定問題は昨年より文章量が増えたことや、一状況二連問・単問の出題があり読解力を必要とする問題が増えていた。→29期生に実施してきた問題集の過去問を繰り返し解かせること。日常生活では長文を読む機会が少なくなっているため今後は読解力を培える対策が必要と考える。
5. さらに新カリキュラムに出てくる内容や用語、地域や学校、保育所などに関連した問題も多くなることが予測される。そのため新カリキュラムの導入を考えた対策も必要と考える。